



現 市立体育館アリーナ

現体育館900万円、計7千700万円と試算している。

問 私は新体育館整備ではなく、サブアリーナの新設も含めた現体育館の大規模改修がよいと考える。(柴田)

◆新体育館アンケートに見る市民関心度。低かった回答率の示すところとそのリアクションについて

問 他議員の体育館の質問と視点を変え、低かった回答率をどう分析しているのか。(村田)

答 約6割の世帯から回答を頂けなかったことは非常に残念だ。しかしながら今回のアンケートは年代、地域など取らない方式であったため十分な分析ができていない。

問 選挙も同じ傾向を示していると思う。年代の高い層は投票率も高いが、低い層は極

子育て環境の整備



◆産科医確保
問 現状と対策は。(永井)

答 日本産科婦人科学会の発表では、新たに産科医師にな

答 検討していく。

問 今あらためて新たな広報戦略が重要で、広報しおじり以外にSNSなどによる若い層向けの広報チャンネルを作る考えはないか。(村田)

答 参加型民主主義を訴えているが永遠の課題である。

問 どう考えているか。(村田)

答 参加型民主主義を訴えているが永遠の課題である。

問 今あらためて新たな広報戦略が重要で、広報しおじり以外にSNSなどによる若い層向けの広報チャンネルを作る考えはないか。(村田)

答 検討していく。



寄せられた市民の声

る数は平成22年の49人に対し26年は368人と減少している。県では、医学学生修学資金、医師研究資金及び臨床研修医研究資金の貸与等を実施し、市は松本医療圏の病院・診療所が連携した広域連携強化を図りつつ、医師確保は医療機関等へ継続して働きかけた。

◆子育て支援の強化を

問 安心して出産・育児をすすめるために妊娠前からの継続した支援が必要。塩尻版「ネウボラ」構想の考えは。(山口)

答 「ネウボラ」はフィンランド語で助言の場を意味しており子育て世代への包括的支援が重要。核家族化など相談支援の強化が求められている先進地の三重県名張市にて視察を行った。子育てしたくなるまち日本のプロジェクトチームと連携を図り具体的に



市職員が名張市のネウボラを視察

◆学校教育について

問 小規模学校に関する市の基本的な考え方は。(小澤)

答 国の手引きは、一定の集団規模が望ましいとする。市内では小規模校が、長所を生かして教育活動を行っている。

問 18歳選挙権を受け、児童・生徒の社会参加、主権者教育は。(小澤)

答 基本計画に沿って学校・家庭・地域の連携を図りたい。国政選挙は県選管と連携し啓発方法を研究したい。

◆認知されていないいじめは

問 児童生徒の心の叫びを担任先生がどこまで深刻に受け

検討したい。

教育の充実



木曾槽川小学校